

広報

たまつくり

(毎月1回発行) 発行人町長坂本常蔵 昭和38年1月23日第三種郵便物認可
印刷所 さんゆう社印刷 定価20円

人口と世帯数

49年11月1日現在

(単位・戸、人)

総人口 13,907人

男 6,823人

女 7,084人

世帯数 3,083戸

清水百太郎さんが走る

～旗・炬火リレー　町内を通過～



清水さん
疾走

稻架（おだ）が残る田の中
一直線に貫く白い道を、
旗・炬火リレーの一団が走
る。

鹿島神宮で採火された「伝統の火」が、十月十五日、玉造町を通過しました。

ここは、その中の、農協現

原支所前から、亀岡入口までの区間、一般男子によって、旗

・炬火が運ばれるコースです。

この中に、清水百太郎さんの姿がありました。

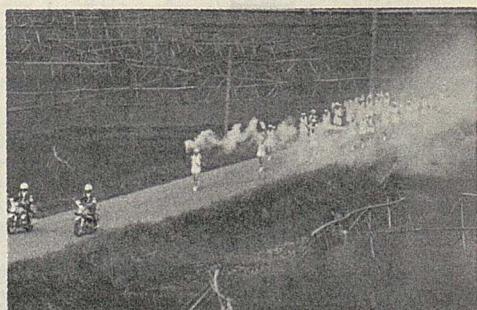
水戸に着き、「科学の火」「自然の火」と一つになつて、笠松のバックスタンド

を真紅に焦がした炬火、何百人、何千人

という人々の手を経てリレーされたので、それが、その中での最年長、それが、清水百太郎さん、七三歳です。

清水さんは、町民運動会、町民ロードレースなどで、老いの壯（さか）んをいかんなく發揮していましたが、こうし

先頭から二番目が
清水さん



た日々の鍛錬のほどが認められ、今回、炬火の副保持者に選ばれました。傍目（はため）の心配もものかわ、清水さんは、この日トーチを持って、たんたんと一、二キロメートルを完走、まだ走れると言わんばかりの健脚ぶりでした。

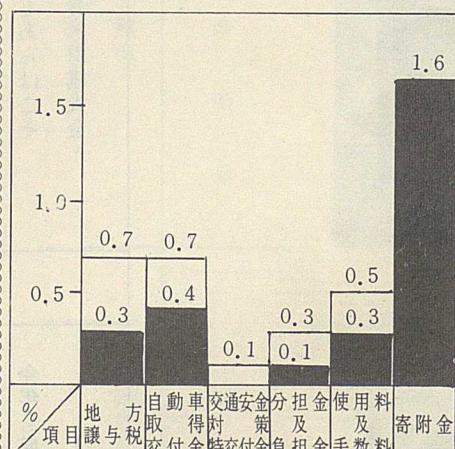
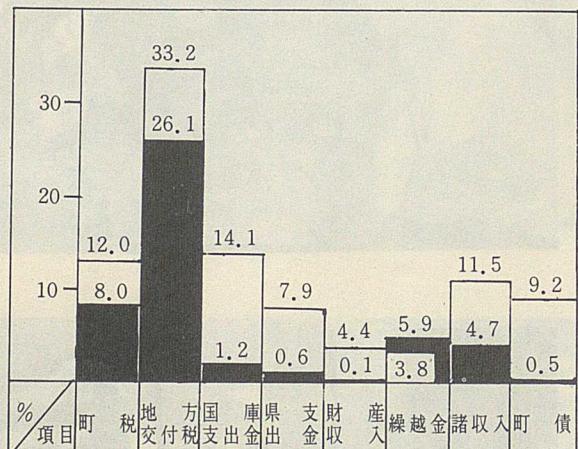
見習わなければならぬのは、ほかならぬこの余裕ではないのかと、思われました。どうも、御苦劳さまでした。

財政事

昭和49年4月1日～昭和49年9月30日

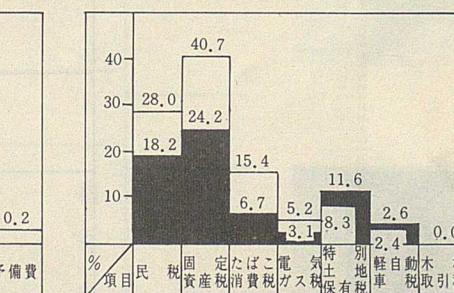
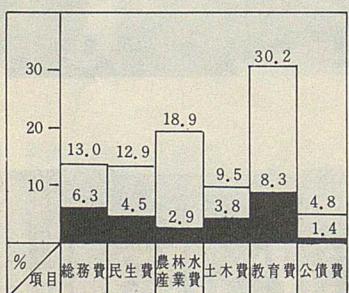
地方自治法第243条の3にもとづ
及公表」に関する条例のさだめる
政事情書を公表いたします。

1. 一般会計 (1)歳 入



歳入予算	1,218,880千円
今期収入	607,515千円

(2)歳 出



歳出予算	1,218,880千円
今期歳出	376,718千円

世帯数	3,086戸
人口	13,915人

昭和49年9月末日現在

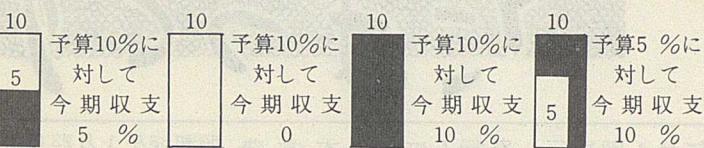
項目	金額	一世帯あたり	1人あたり
歳入	607,515千円	196,861円	43,659円
歳出	376,718千円	122,073円	27,072円

情 書

グラフの見方

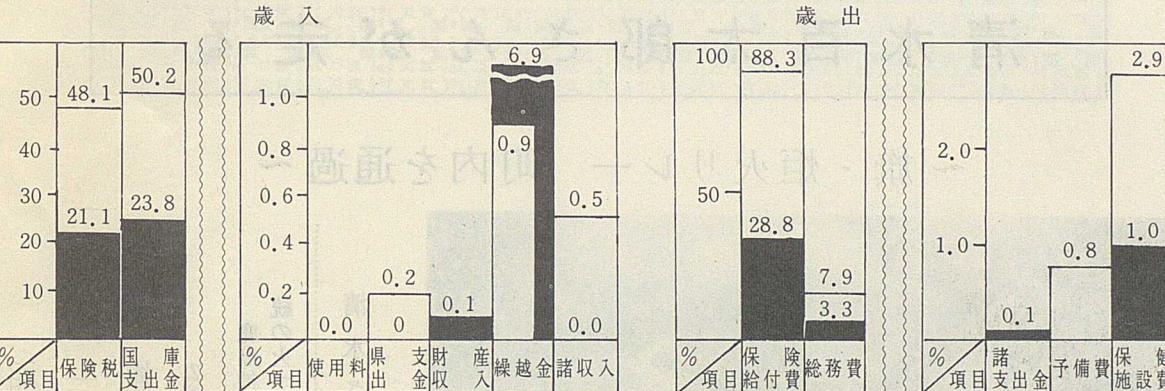
このグラフは、上は90% 下は0.1%までを表わしております。従いまして表記上、二重目盛を使い {} で区分しています。

凡例



く「財政事情書の作成
ところにより玉造町財

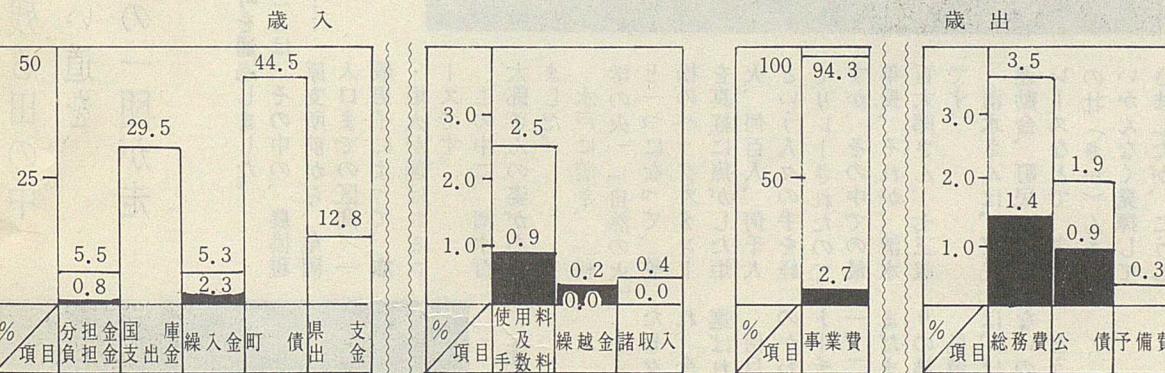
2. 国民健康保険の歳入歳出状況



世帯数	2,412戸
人口	10,112人

種目	金額	1世帯あたり	1人あたり
歳入	124,288千円	51,529円	12,291円
歳出	79,657千円	33,025円	7,877円

3. 水道会計歳入歳出状況



公債額面	114,000千円
今期借入	0

種目	金額	一世帯あたり
歳入	11,043千円	16,457円
歳出	13,129千円	19,566円

世帯数	671戸
-----	------

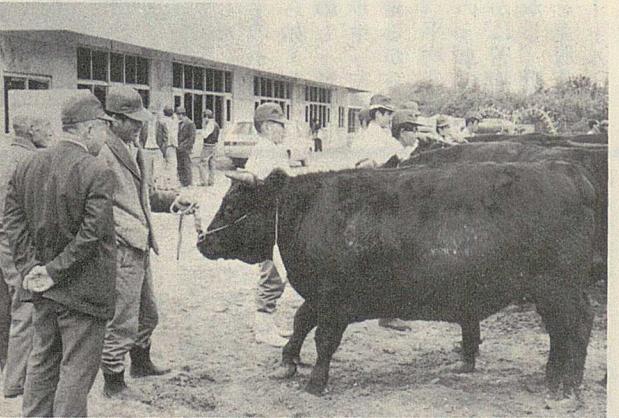
産業文化祭



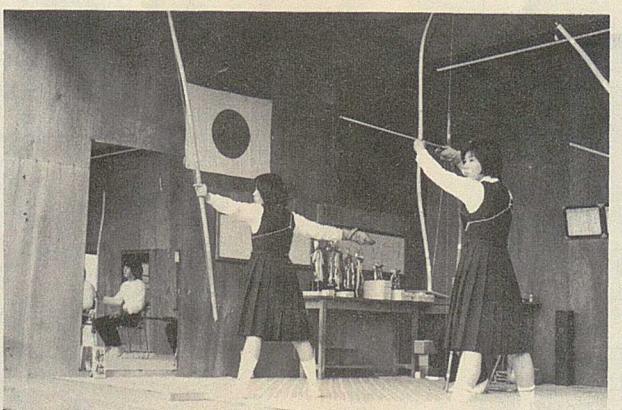
小中音楽会
羽生ばやしの熱演
(郷土芸能大会)



絵画展
何故か楽しい
(町民運動会)



弓道大会
肥育牛共励会



カメラ・ルポ



飯食うひまもあらばこそ
(囲碁・将棋大会)



今年も繁盛
(青年団・喫茶店)



書道展



季節のカメラ

柿の実がたつた一つ
枝につかまつてゐる
力尽き、落ちた時が
ヨーイ・ドン
あわただしい師走の
始まり始まり

家族で楽しい旅行　友
だちとちよつと「ぱい」など
楽しく過ごしていたのに料理
店、バー、旅館でお会計のと
き戸惑つてせつかくの気分が
ふつとんでしまつたことはな
いでしょうか。
○公給領収証は、あなたのお
会計を明るくします。
料理店、バー、旅館などの
支払いは、公給領収証を受け
取ることは、料金の明細、料
金と税金の区分などが明確に
なります。
○公給領収証を受け取ります
と、あなたが負担された税金
が正しく県に納められます。
これらの税金は道路をよく

に於けるためのサービス行政に
使われます。

したがいまして、皆さんが
公給領収証をお受け取りにな
りますことは、料理飲食等、
消費税の収入額を確保し、そ
の結果、県民全体の幸わせを
もたらすことになります。

あなたの郷土を住みよく、
豊かにする、公給領収証の受
け取りにぜひご協力下さい。

毎日新聞社、毎日育英会で
は、大学・短大・各種学校に
進学を希望する学生に、毎日
奨学制度を設け利用いただい

夕刊の配達をしていたために条件であり、卒業後に学資などの返済を必要としないことが特徴です。今春も、大勢の青年を社会に送り出し、現在も、四、五〇〇人の先輩が、奨学生として学んでいます。毎日奨学制度の詳細はハガキで左記にお申し込み下さい。説明書を送ります。

高石 甲荒 小坂 壇対堀 新平 石坂 飯野 高
橋 神谷 木 沼入 馬田 堀間津 本島 原
真俊 正俊 史孝敏 義祐 友貴 広久 伸
弓之 玲守 昭徳 子広司 英一子 代惠美
長 長 二 二 長 長 長 長 三 長 長 二 長 長 長

女男男男男男女男男男男女女女女
貞一正俊一広昌 芳猛秀敏豊
昇亘 栄
死亡 一男巳光孝士宏 尾一雄弘実
部 9月
中谷上根上羽根竹の小座玉造横須賀
古吉古山山山津洲田
山島宿屋山生屋山山

料理店、バー、旅館などの
お会計は
公給領収証で

し、教育を行ない、産業を振興し、老人や青少年の保護、育成、指導などの社会福祉の充実、その他県民全体の暮らしを豊かに新規費

この育英制度は、学資・食
費、住居など一切を育英会が
お世話する制度で、代りに、
新聞業務の一部である、朝、

誕生おめでとう
ござります

出產
八木蒔部 落 保護者 博

あとがき

旗・炬火リレーの写
りがとうございました。

真、どうもあ

弓平小風石塚高飯代
松削間崎間津本野田城
義な力市隆七次ふ広
信かツ市衛門夫郎広ゆ秋
名

おこやみを
申上げます

七年六八〇七八四五九二八八五八三九二八八五八六七年

若宿上沖沖西上里
浜海山洲洲谷山部落

6

8